

## 第5回 佐賀駅前広場等整備・活用検討会議

■日 時：令和4年7月25日（月）14：00～15：30

■場 所：佐賀市役所2階 庁議室

■参加者：（委員）荒牧軍治、馬場久雄、柴戸晶子、福島龍三郎（代理江頭邦子）、野田和成、  
江頭省吾、川崎博満、江口真喜、原口武彦、金崎春海、池田聡子、白井誠  
（事務局：佐賀市佐賀駅周辺整備構想推進室）

武藤英海、西洋徳、田中克弥、井手康祐、副島靖敬、野田大介、緒方辰哉  
大串賢一、大野雅生、姉川久、武富将志、樫木豊、澤野正芳、中村明弘  
中田慎也

（事務局：佐賀県まちづくり課）岩橋良憲、垣内尚子、河原誠

1. 開会
2. 挨拶
3. 前回会議振り返り
4. 事業進捗状況の報告（市説明）
  - ・駅前広場（北口、南口）の工事進捗
  - ・南口交流広場の管理活用について
5. 検討事項
  - ・県道佐賀停車場線の再整備について（県説明）
  - ・佐賀駅出入口の愛称について（市説明）

### ■質疑等

5. 検討事項
  - ・県道佐賀停車場線の再整備について

### ○委員

- ・資料3のP7に道路の活用のイメージがあるが、キッチンカーはシェアストリートの方で出すということでしょうか。

### ➡事務局（県）

- ・基本的にはそのイメージである。車道の滞留とか自転車の通行の妨げにならないように、路肩は自転車が通行するので、キッチンカーは歩道のシェアストリートに置く。

### ○委員

- ・このような道路にした場合、自転車は車道側を通るということだが、幼児とか高齢者は、法令上では車道ではなく歩道を通ってもよい。幼児、高齢者が通る場合は歩道に乗って行ってもいいとの考えか。

### ➡事務局（県）

- ・道路交通法上は幼児とか高齢者の自転車は歩道を通行してよいとなっている。安全第一を考えて、占用とかイベントを考える中でどのような誘導ができるのか検討させて

いただきたい。

○委員

- ・今後どの程度の賑わいが出て、どの程度混雑して安全面に支障が出るのかがまだ見えてこない。以前は白山商店街のアーケードでは自転車を降りるように交通指導をする方々がいた。そういうことで安全が保たれていたと思う。

➡事務局（県）

- ・昨年度、県が行った社会実験では「押しチャリ」ということで歩いてくださいとの表示をして行った。今後、日常的にこういう活用をするにあたっては、安全を考えながら、基本は路肩を自転車、一般の方は歩道通行を前提として進めたいと考えているが、イベント時にどうするかとか、幼児、高齢者の自転車通行をどうするかについては、警察と一緒に検討しながら進めたい。

○委員

- ・停車場線の通りの審議というか、デザイン的なこと、ものの考え方については、基本的にはこの検討会議が担っていると考えてよいか。

➡事務局（県）

- ・今日は大きな整備のイメージとか活用のイメージを説明させていただいた。県は他にこういう議論の場を持ち合わせておらず、この会議で意見をいただきたい。

○委員

- ・整備については原則的にはこの検討会では異論はないと思うが、デザインが見えてこないと感じが言いにくい。設計デザインが出来上がるのがいつ頃で、どういった形で皆さんに意見を求めるのか。

➡事務局（県）

- ・現在、設計を進めており、今年度中にはまとめる必要がある。一定のデザインの方向性や概念的な所がまとまった段階で、佐賀市と調整のうえ会議を開催し、デザインのイメージについて説明し、ご意見をいただければと考えている。

○委員

- ・佐賀市が行っている駅前広場の整備が終わればこの会議の役目も終わることができるが、それに関連して佐賀県が4車線を2車線にして広場として使用するという非常に面白いアイデアを出されたので、一体としてこの場で議論をしたい。会議を解散すると継続性がなくなるので、できたらデザインの所までこの会議で検討させていただきたい。

➡事務局（県）

- ・県としてもこの検討会でデザインの説明をしていきたい。

○委員

- ・スケジュールとして設計はいつ頃終わって、着手はいつ頃分かるか。

➡事務局（県）

- ・設計は今年度中には終わる。南口駅前広場が完成する11月ぐらいにはその時点のデザ

インの考えを説明させていただきたい。

○委員

- ・最終的に設計が完成してしまってからこの場で示すのではなくて、その前にもう1回ぐらい意見を聞いて今年度中に設計完了するというようなタイムスケジュールでよいか。

➡事務局（県）

- ・途中段階の分の説明をして、さらにもう1回、それを踏まえたデザインを説明する場を、あわせて計2回ほどの場を設けていただきたい。

○委員

- ・県道も駅前広場と一体として整備するというのは非常に魅力的な案だと思うので、県道についても委員の皆さんの意見を聞きながら会議を運営していきたいと思う。

○委員

- ・駅前広場は指定管理者を選定するようだが、これまで私たちが議論してきた三溝線、駅前広場、県道、駅前まちかど広場を一体とした連携の仕方、維持管理の仕組みを示してもらいたい。指定管理者でも構わないがスタート時点で決めておかないと後が大変である。

➡事務局（市）

- ・スケジュール感としては、県道の設計が今年度中とのことなので、設計の進捗に応じてだが1回か2回は開催できるのではと考えている。いろんな整備しているので1回目か2回目のいずれかのタイミングで、整備場所によって決定・未定のものがあると思うが、維持管理、活用の考え方の方向性を、皆さんにお示しする場を設けたいと思っている。

・佐賀駅出入口の愛称について

○委員

- ・地元で北口南口以外に何か愛称はつけてないか。

○委員

- ・ない。8月10日に地元の自治会長会があるので今日の資料を提供したい。

○委員

- ・佐賀は北に山があって、南に海があって東西に列車が走っている。そのため北口南口が一番定着して分かりやすい街だと思う。愛称はどうやって決めるのか。

➡事務局（市）

- ・庁内で選考委員会を設けて、そこで決定したいと考えている。

・その他意見交換

○委員

- ・南口の件だが、以前話し合いの中で、駅から降りたときに何か目に付くようなシンボリックなものをする話があったと思うがどうなったのか。

➡事務局（市）

- ・南口のシンボルとして大屋根という話になったと理解している。

○委員

- ・銅像があったと思うがどうなったのか。

➡事務局（市）

- ・北口南口といくつかモニュメントがあったが、南口にあった面浮立像については工事期間中にいったん撤去して、現在新たに設置し直している。

○委員

- ・県外からの人の出入りが増えるということで、電車から降りた時のワクワク感が欲しいと思う。お金をかけずにやるのであれば、ホームの床面に絵を描くとか、市民の方とワークショップ的なことでできないかと思う。

○委員

- ・例えば新しく駅ビルができたところは九州に限らず、降りた瞬間に大きな建物ができているのでワクワク感につながると思うが、今の佐賀駅にお金をかけずにどうやってワクワク感を出せるかというのは今後勉強していかなければいけないと思う。

○委員

- ・佐賀県出身の有名な画家にミヤザキケンスケさんがいらっしゃるが、佐賀駅に何かできないか相談したところ、相談があれば力になりますとの話をいただいている。有名な方のデザインがあるのは来る人にもいいと思う。

○委員

- ・いただいた意見は社内でも検討したい。利用者の方はいろいろな方がいらっしゃるのですが、こういった形にするかはいろいろ話をいただきながら考えていきたい。

○委員

- ・駅舎西側の改修の話聞いたがどういうイメージか

○委員

- ・オープンスペースの中に基本的には食事の店舗、キッチンカーが入るテラス形式も一部あるようなイメージ。先ほどからの話と連携できればと考えている。そういったところからワクワク感が生まれればと思っている。

○委員

- ・あとは市役所、県庁の皆さんたちに着実に進めてください。デザインや設計が決まる前に、我々の意見が受け入れられる段階で意見を聞いてください。